

授業と評価の年間計画

教科	数学	科目	数学B	
使用教科書(発行所)		改訂版数学B(数研出版)		
履修条件 対象生徒	必修 普通科(理型)2年			
学習目標	平面ベクトル、空間ベクトル、数列について理解を深め、基礎的な知識と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業、家庭、補習・その他】</p> <p>1 授業を大切に！ 先生の説明をよく聞き、理解すること。板書を写すだけでなく、説明の中で大切な点を必ず書き込んでおく。授業を聞いてまず「分かる」状態になるように、真剣に授業を受けることが第一である。</p> <p>2 宿題を自分で解く！ 授業を受けて「分かった」状態から「できる」状態に自分を高め、その日に習った公式や解法を覚えることが、宿題の目的である。「できる」状態になるために「宿題」に時間をかけて取り組むことは必須である。</p> <p>3 テストを活用！ テストに出題される問題は、「最重要問題」である。また、理解が不十分なところがはっきり分かるのがテストである。訂正することによって、「分からなかった」問題を「理解」しよう。</p>			
指導計画 と ねらい	2学期 第1章 平面上のベクトル 平面上のベクトルとその演算 ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル		<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形におけるベクトルについての基本的な概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 ・空間図形におけるベクトルについての基本的な概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。 	
	3学期 第3章 数列 数列とその和 数学的帰納法		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。 	
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
	学習する内容に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	定期考査、課題テスト、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。			
その他				